

【研究代表者】

鎌田東二 (京都大学こころの未来研究センター教授/宗教学・民俗学)

【研究分担者】

鶴岡賀雄 (東京大学大学院人文社会系研究科教授/宗教学・キリスト教神学)

町田正鳳 (広島大学大学院総合科学部研究科教授/比較宗教学・仏教研究)

棚次正和 (京都府立医科大学名誉教授/宗教学・祈り研究)

津城寛文 (筑波大学大学院国際日本研究専攻教授/宗教学・神道行法研究)

井上ウイマラ (高野山大学文学部教授/スピリチュアルケア学・仏教瞑想研究)

倉島 哲 (関西学院大学社会学部教授/社会学・身体論)

篠原真雄 (京都大学大学院人間・環境学研究院教授/美学・まぶさび瞑想)

河合俊雄 (京都大学こころの未来研究センター教授/臨床心理学・ユング研究)

齋木 潤 (京都大学大学院人間・環境学研究院教授/認知科学)

島園 進 (上智大学クリーフケア研究所所長・東京大学名誉教授/宗教学)

野村理朗 (京都大学教育学研究科准教授/認知神経科学)

永澤 哲 (京都文教大学総合社会学部准教授/宗教学・チベット仏教)

林 紀行 (大阪大学大学院医学系研究科統合医療学寄附講座助教/医師/精神医学・統合医療)

稲葉俊郎 (京都大学医学部附属病院内科助教/医師/循環器内科・未来医療)

金 香淑 (日本大学文学部講師・京都大学こころの未来研究センター・ワザ学プロジェクト連携研究員/文化人類学・韓国シヤーマニズム研究・比較文化論)

【研究協力者】

西平 直 (京都大学大学院教育学研究科教授/教育人間学・教育哲学・臨床教育学)

やまだようこ (京都大学名誉教授・立命館大学特別招聘教授/発達心理学・質的研究)

小倉紀蔵 (京都大学大学院人間・環境学研究院教授/韓国儒教研究)

吉川左紀子 (京都大学こころの未来研究センター長/認知心理学)

高橋英彦 (京都大学大学院医学研究科准教授/精神医学・脳科学)

中川吉晴 (同志社大学社会学部教授/ホリスティック教育/臨床教育学)

熊谷誠彦 (京都大学こころの未来研究センター上廣こころ学研究部門准教授/仏教学・ブータン仏教・ボン教研究)

河村博重 (関西大学人間健康学部人間健康学専攻准教授/身体教育学・応用健康科学)

中野民夫 (観世流能楽師・京都造形芸術大学客員教授)

木村はるみ (東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授/ソーシャルイノベーション・フシリテーション論)

小西賢吾 (山梨大学大学院教育学研究科准教授/舞踊学)

松嶋 健 (金沢星陵大学講師/文化人類学・中国チベット研究)

須田郡司 (広島大学大学院社会科学部研究科准教授/文化人類学)

アルタンジョラー (写真家・京都造形芸術大学非常勤講師/石の聖地研究)

(京都大学大学院人間・環境学研究院・京都大学こころの未来研究センター・ワザ学プロジェクト共同研究員/文化人類学・モンゴルシヤーマニズム研究)

(作曲家・音楽家/音パネ研究)

山田真由美 (パリ大学科学哲学研究所博士課程・神戸大学大学院医学研究科/統合医療の認識論的研究/医療哲学)

藤守 創 (京都大学学際融合教育推進センター特定講師/医師/神経解剖学/脳神経外科学)

松田和郎 (京都大学放射線生物研究センター講師/分子生物学)

古谷寛治 (美術史家)

秋丸知貴 (京都大学放線生物研究センター講師/分子生物学)

トマス・ジョン・ヘイスティングス (日本国際基督教大学財団主任研究員・元東京神学大学教授/教育学/賀川豊彦研究)

勝又公仁彦 (京都造形芸術大学専任講師/写真家)

檜垣樹理 (早稲田大学国際教養学部准教授/フランス宗教学/文学・宗教間対話)

蛭川 立 (明治大学情報コミュニケーション学部准教授/人類学)

田口ランディ (作家)

太田俊寛 (埼玉大学非常勤講師/宗教学)

魚川祐司 (仏教研究者)

奥井 遼 (パリ第五大学日本学術振興会海外特別研究員/臨床教育学・身体論・淡路島人形浄瑠璃研究)

長谷川千紘 (京都文教大学臨床心理学部講師/臨床心理学)

門前斐紀 (京都大学こころの未来研究センター上廣こころ学研究部門非常勤研究員/教育人間学/臨床教育学)

❖「身心変容技法研究」の第二期が始まった。第二期のテーマは「身心変容技法と霊的暴力」。二十一世紀はあらゆるレベルで安全と安定がなくなる時代だ。そして様々なレベルで「暴力」が横行する。その「暴力」を防ぎ、逸らし、解消浄化する方法をわたしたちは見出し、実行しなければならぬ。積尊や孔子や老子やイエスが説いたのも、真の「安心」や「平安」を得るための「身心変容技法」だった。それを現代に見出し、実現するために、「霊的暴力」の解明と乗り越えは必須事項である。(鎌田東二)

❖今年度は、身心変容技法研究会の五年目、新しいタイトル「身心変容技法と霊的暴力」とともに、再出発の一年でした。このような機に、研究員として関わらせていただきましたこと、こころより御礼申し上げます。自由さとひらめきいっぱい、の思考で、不確かな問題に切り込み掴みとる研究会のライブ感には、とても惹き込まれました。毎回身心変容しながら学び、考えさせていただきました。ありがとうございました。(門前斐紀)

❖昨今の日本や世界の動きを見るにつけ、「身心変容技法と霊的暴力」というテーマの重要性をひしひしと感じます。それを学問の垣根を乗り越えて、強靱な学問的・思想的探究心で捉えていくこの研究会の意義はたいへん深いと思います。本号は梁根千夏子さん、伊藤桃子さんの加勢で何とか刊行までこぎ着けることができました。感謝しております。そして組版担当の東浩美さん、デザインの尾崎閑也さん、いつもありがとうございます。(原 章)

身心変容技法研究 第5号

科研基盤研究(A)

「身心変容技法と霊的暴力——宗教経験における負の感情の浄化のワザに関する総合的研究」
(課題番号15H01866)

発行日 二〇二六年三月三十一日

発行 京都大学こころの未来研究センター 身心変容技法研究会

〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町46

京都大学稲盛財団記念館内 電話075-753-9670

http://waza-sophia.la.coccan.jp/

不二と身心変容 撮影・鎌田東二

編集 編集工房レイヴン 原 章

デザイン 鷺草デザイン事務所 尾崎閑也

印刷 NPCコーポレーション